

帰国後にできる活動について

皆さんは留学帰国後にご自分の経験をどのように活かしていきたいですか？ 外国人を対象としたボランティア、留学に行きたい後輩を支援する…など色々ありますが、ここでは学内でできる活動をご紹介します。

A | SUP! Language Exchange Programに参加してみよう!

「学びたい言語」と「教えることができる言語」を登録し、マッチするパートナーが見つかったら、パートナーと1対1で、お互いの言語を教え合いながら、学ぶことができるプログラム。



▶ <http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/gaikokugo-gakusyu/sup.html/>

B | SUP! Talkfestに参加してみよう!

ランチタイムなどにリラックスして留学生や外国語に興味がある学生同士が出会い、交流する場。

▶ 問い合わせ先: 各キャンパスの言語教育センター

C | 外国語コミュニケーションルームを利用してみよう!

授業外で外国語の先生と会話できる場所。フリートークやゲームなどを通じて外国語学習の継続の場として利用してみよう。



▶ <http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/gaikokugo-gakusyu/communications.html/>

D | 留学生チューター『TISA』の企画に参加してみよう!

留学生チューター TISAでは、留学生と日本人学生が交流できるイベントを実施しています。



▶ 問い合わせ先: 各キャンパスの国際教育センター

E | レジデント・メンター (RM) として活動してみよう!

RMとは、各キャンパスのインターナショナルハウス (国際寮) に住みながら、留学生のサポートや交流イベントの企画を行うスタッフ。年に2回程度募集しています。

▶ 問い合わせ先: 各キャンパスの国際教育センター



F | 短期研修留学生と交流する「バディ」として活動してみよう!

主に、衣笠・OICを中心として、海外大学から2週間から5週間程度の短期研修として、立命館大学へ来日する留学生をサポートするバディ制度があります。
衣笠: 「RSJP/RWJPバディ」
OIC: 「SBJPバディ」



▶ 問い合わせ先: 衣笠国際教育センター、OIC国際教育センター

G | 留学サポーター、留学支援団体「まいる」で、後輩への支援活動をしてみよう!

留学経験者として、これから留学を目指す・実現する後輩をサポートする活動。留学先の情報や、現地での授業内容などをアドバイス。

留学支援団体「まいる」(衣笠・OIC)

主として長期留学の希望者へのサポートや、より多くの学生に留学に興味を持ってもらえるよう活動する学生団体。

▶ 問い合わせ先: my.root@live.jp

Twitter: 「@myroot」 もしくは 「@studyabroadOIC」

Instagram: 「留学支援団体まいる」もしくは「studyabroadoic」

留学サポーター

国際教育センター実施の海外留学プログラムに参加した学生が留学を希望する学生へ情報提供やサポートを行う活動です。現在、BKCで活動しています。

▶ 問い合わせ先: BKC国際教育センター



これら案内の他、manaba+Rでも様々な活動・募集案内が紹介されています。
カテゴリ「留学・語学」をこまめにチェック!